

サッカー日本代表専属シェフ 西芳照さんの「代表カレー」を使用！ 地元の高校生が商品開発に取り組んだ「代表カレー」aぱん 福島県・楡葉町「ベーカリーハウス アルジャーノン」にて土曜日限定販売！

福島県・楡葉町に位置する「ここなら笑店街」で、約50種類のパンを販売している「ベーカリーハウス アルジャーノン」では、サッカー日本代表専属シェフ西芳照さん、県立ふたば未来学園高等学校とコラボレーションした「代表カレー」aぱん」を毎週土曜日に限定販売いたします。



「代表カレーJaぱん」(丸い形はサッカーボールをイメージ)

「代表カレーJaぱん」は、楡葉町に隣接する広野町の県立ふたば未来学園高等学校の生徒が、震災・原発事故からの復興の道を歩む双葉郡内の賑わい創出を後押ししようと、授業の一環で商品開発を提案。サッカー日本代表の専属シェフとして知られる、西芳照さんの協力を得て、代表に提供しているカレーのルーを使った焼きカレーパンが完成しました。

「ここなら笑店街」の開業イベントが開かれた2018年6月30日、7月1日の2日間では、1日50食の限定販売を実施。初日は1時間足らずで売り切れるほどの賑わいとなりました。開業後は多忙な日々を追われ、中々店頭で「代表カレーJaぱん」を並べることができませんでしたが、今年9月に入ってから本格的に土曜日のみの限定販売をスタート。本商品目当てのリピーターも増えてきています。

「具材は大きく、食感を楽しめるようにしました。スパイスを効かせた西さんカレーの味をまるやかにし、お子様でも親しめる辛さです。限定販売ですが、お店で1、2位を争う人気商品になっています。」(「ベーカリーハウス アルジャーノン」 矢内久美子さん)



<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人 ならはみらい 担当 平山・西崎

電話：0240-23-6771(代表) / FAX：0240-23-6772 / E-MAILinfo@naraha-canvas.com

■ 「笑（えみ）ふるタウンならは(ここなら笑店街)」について

「笑（えみ）ふるタウンならは」は、災害公営住宅やスーパーマーケット、診療所など、さまざまな生活機能を集約した檜葉町の復興拠点です。拠点内にある公設商業施設「ここなら笑(しょう)店街」は、スーパーやホームセンター、飲食店など10店舗が入居する複合商業施設となっています。

■ 「みんなの交流館ならはCANVAS」について(<http://naraha-canvas.com/>)



「みんなの交流館ならはCANVAS」は、全9回のワークショップの中で語られた町民の想いをもとに設計されました。施設のオープンは、ゴールではなく“はじまり”。檜葉町の方はもちろん、地域を超え、世代を超えて愛されることを願い、何度も来たくなるようなたくさんの魅力とこだわりが詰まった施設です。施設名については、これから多くの方が主体的にこの施設に関わり、みんなで創っていく＝真っ白なキャンバスに描いていくような施設であってほしいという想いから名付けられました。CANを大文字にすることで、この施設の可能性や、「使う人の「can=できる」を叶える場所にした」と想いを込めました。

<本件に関するお問い合わせ先>

一般社団法人ならはみらい 担当 平山・西崎

電話：0240-23-6771(代表) / FAX：0240-23-6772 / E-MAILinfo@naraha-canvas.com